

加齢黄斑変性や網膜細動脈瘤などに続発する 網膜下出血に対する網膜下内視鏡手術

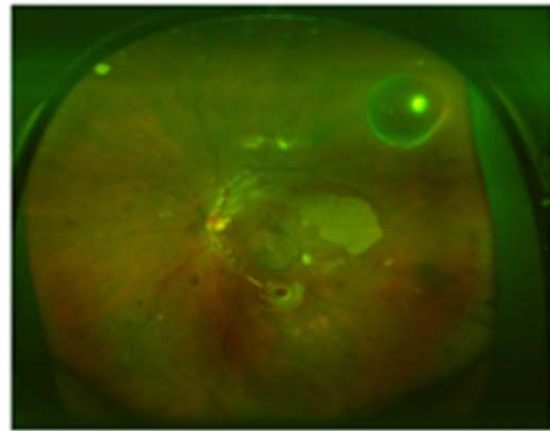
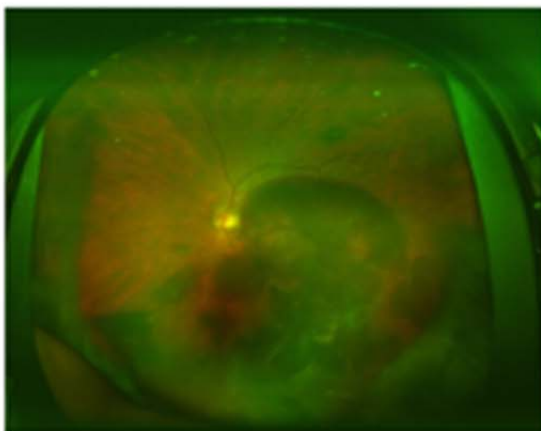
加齢黄斑変性や網膜細動脈瘤などが原因で、視力に直接影響する黄斑部の網膜下に大出血を引き起こすと失明に近い状態になることも稀ではありません。当院では内視鏡を使用した世界初の網膜下手術を行い、良好な成績を得ております（倫理委員会承認済み）。世界に発信できる手術として更なる改良を重ね、重症例に報いる術式として日々研鑽しております。発症後2週間以内であれば、良好な視機能改善が得られる可能性もありますので、お困りの場合はご紹介または受診されてください。

術前

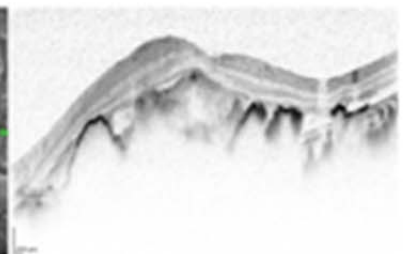
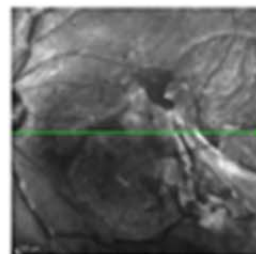
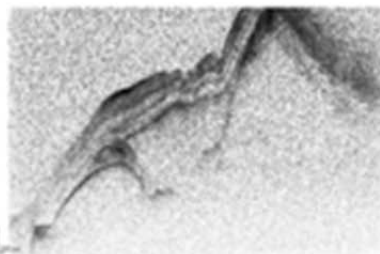
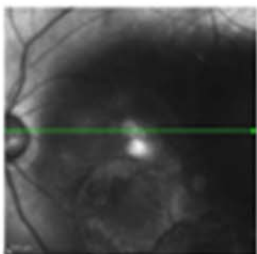
視力(0.07)

術後翌日

視力(0.3)



眼底写真:大量の網膜下出血あり(術前)、網膜下出血なし(術後)



OCT画像による黄斑部の断層像:術後網膜下出血の改善をみとめる